

金沢工業大学の学生がトンネル工事を体感

かなざわとうぶかんじょう

いままち

■金沢河川国道事務所では、国道159号金沢東部環状道路の金沢市今町～
かみやちまち
神谷内町間(延長5.2km)において4車線化工事を進めています。

■今回、月浦トンネル(Ⅱ期線)工事の現場にて、学生にトンネル掘削管理等
つきうら
の最新技術を体感してもらいます。

■この見学会を通して、大学で学んだ技術が実際のプロジェクトにどのように
活用されているか体感し、将来の技術者像のイメージや建設業の理解を深め
てもらうことを目的としています。

【現場見学会】

日 時：令和 元年 6月 4日(火) 13:30～15:00

つきうらまち

場 所：金沢市月浦町(別紙参照)

参加者：金沢工業大学 環境土木工学科 3年生 他 約100名

内 容：トンネル坑内見学 及びトンネル掘削管理(CIM)について説明

お問い合わせ先

現場見学会(取材)に関すること

※取材を希望される方は、工事現場内のため、事前にお申し込み下さい。

おおした よういち

金沢河川国道事務所 建設専門官 大下 陽一

さいねん

住所：金沢市西念4丁目23番5号

電話：076-264-8575(工務第二課直通) FAX：076-233-9631

金沢工業大学の取組に関すること

金沢工業大学 工学部 環境土木工学科 教授

きむら さだお

木村 定雄

したか ひでお

企画部 広報課

課長

志鷹 英男

おおぎ おか

住所：野々市市扇が丘7番1号

電話：076-246-4784(企画部直通) FAX：076-248-7318

金沢東部環状道路 位置図



月浦トンネル(Ⅱ期線) 施工状況



トンネル掘削管理(CIM)とは

- ・ CIMとは、『Construction Information Modeling / Management』の略語で、CIMを導入することで、平面図や縦断図などの2次元図面から3次元モデルへ移行し、設計段階から施工段階において、各種情報を一元管理することが可能となります。
- ・ また、各種情報を一元管理することで、事業全体にわたる関係者間の情報共有が容易となり、業務の効率化、品質の向上、生産性の向上、維持管理への活用等の効果が期待されています。
- ・ 今回、トンネルの施工において、地山に関する情報や計測情報、品質管理記録等の多様な情報を3次元モデルを用いて一元管理することにより、常時モニタリングし、分析も可能となり、施工判断の迅速化が可能となります。